

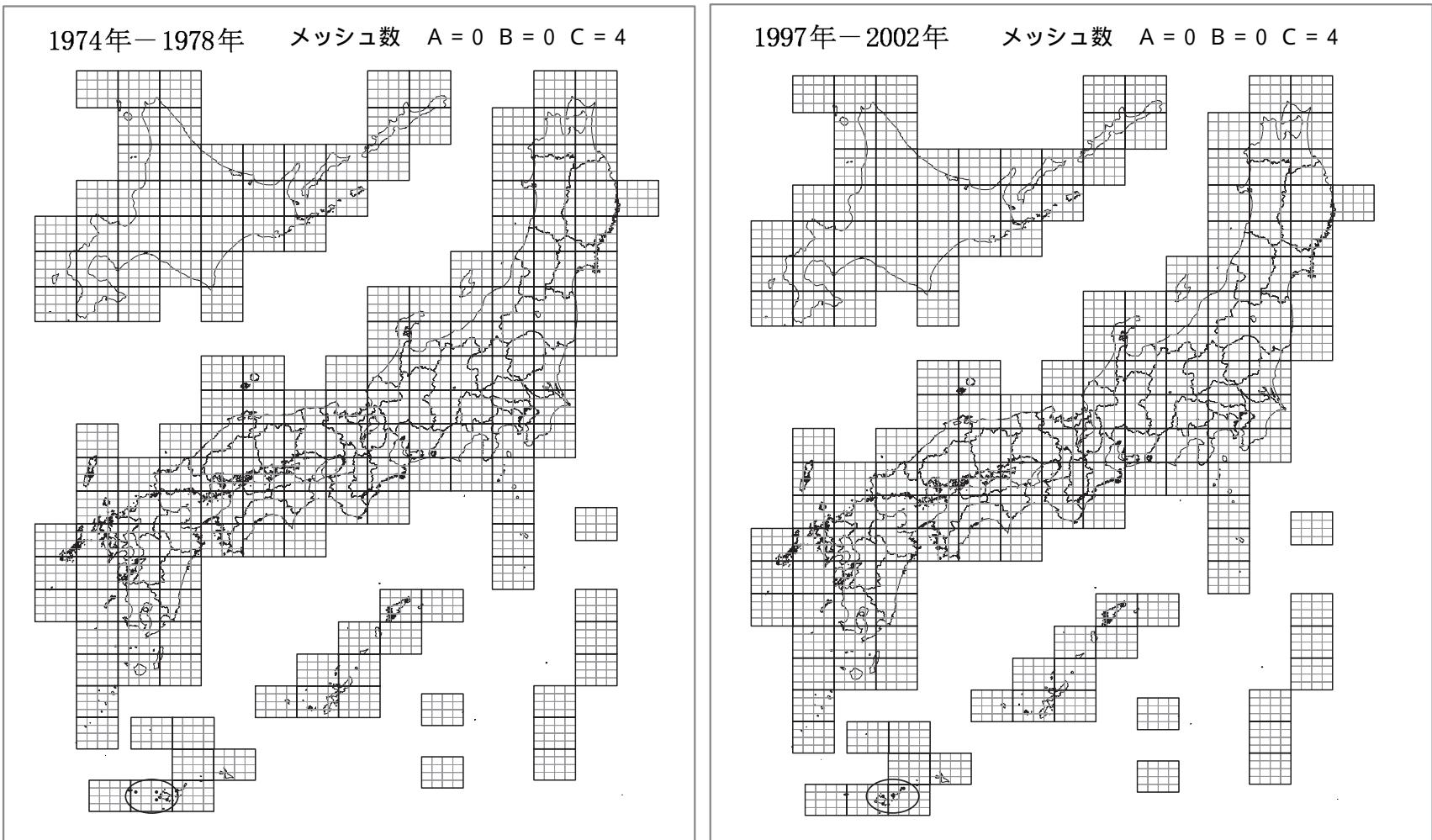
ムラサキサギ

(分類) コウノトリ目サギ科 *Ardea purpurea*

(環境省RDB種) -

(分布) 八重山諸島などの南西諸島に留鳥として繁殖した記録がある。東南アジア～アフリカまで分布。

(生態) 水田やマングローブ林を含む湿地にすむ。4～5卵を26日前後抱卵する。浅い水中で歩いたり、待ち伏せて、魚、両生類、昆虫類を捕食する。



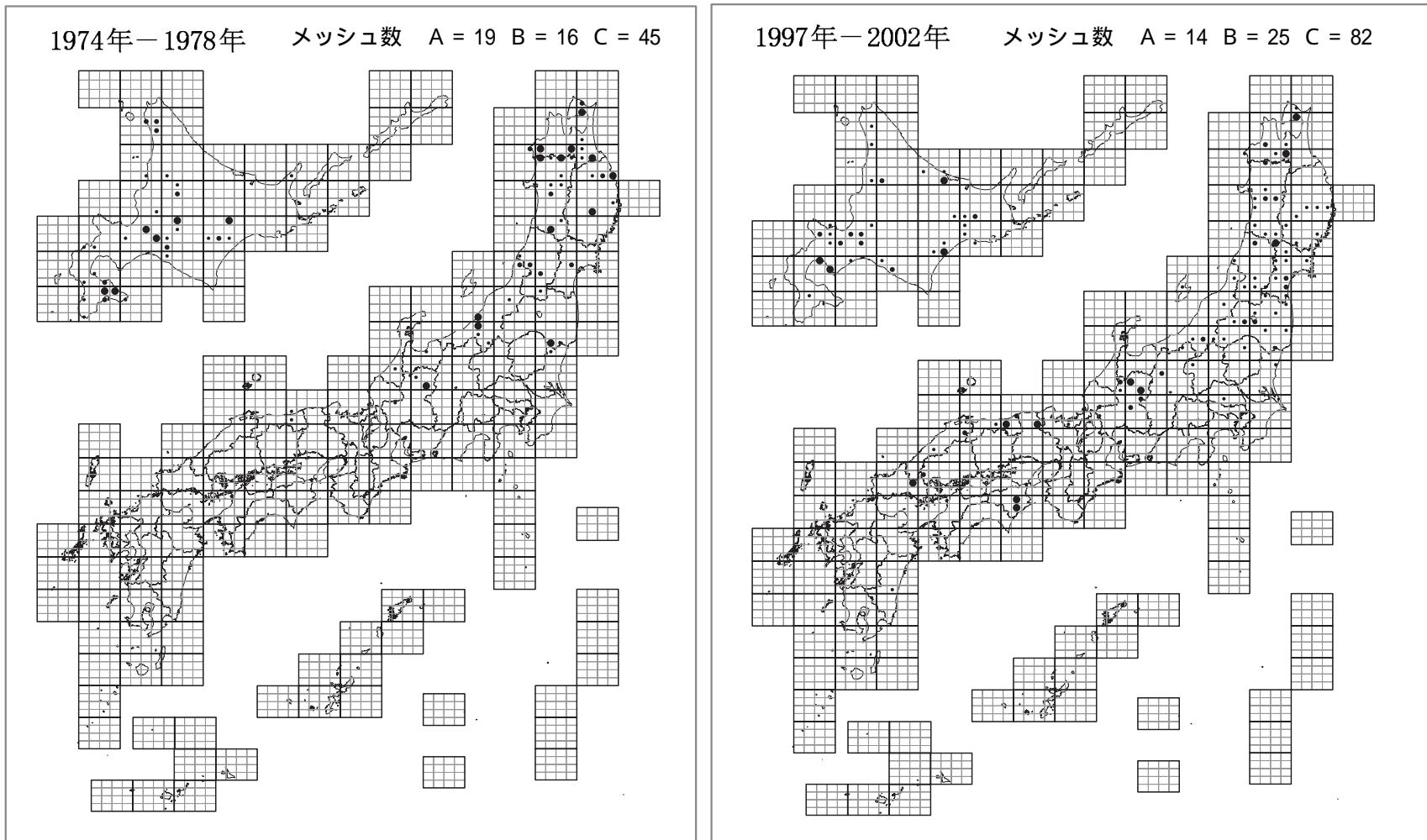
オシリドリ

(分類) カモ目カモ科 *Aix galericulata*

(環境省RDB種) -

(分布) おもに本州中部以北で繁殖。それ以南で越冬。極東アジアに生息。

(生態) 樹洞で営巣する。5~6月頃から7~10卵を雌が30日前後抱卵の後、洞から飛び降りるようにヒナを促して水辺に導く。広葉樹の茂る暗い水辺で、ドングリ、草の種子や水生昆虫を食べる。巣箱を利用することもある。



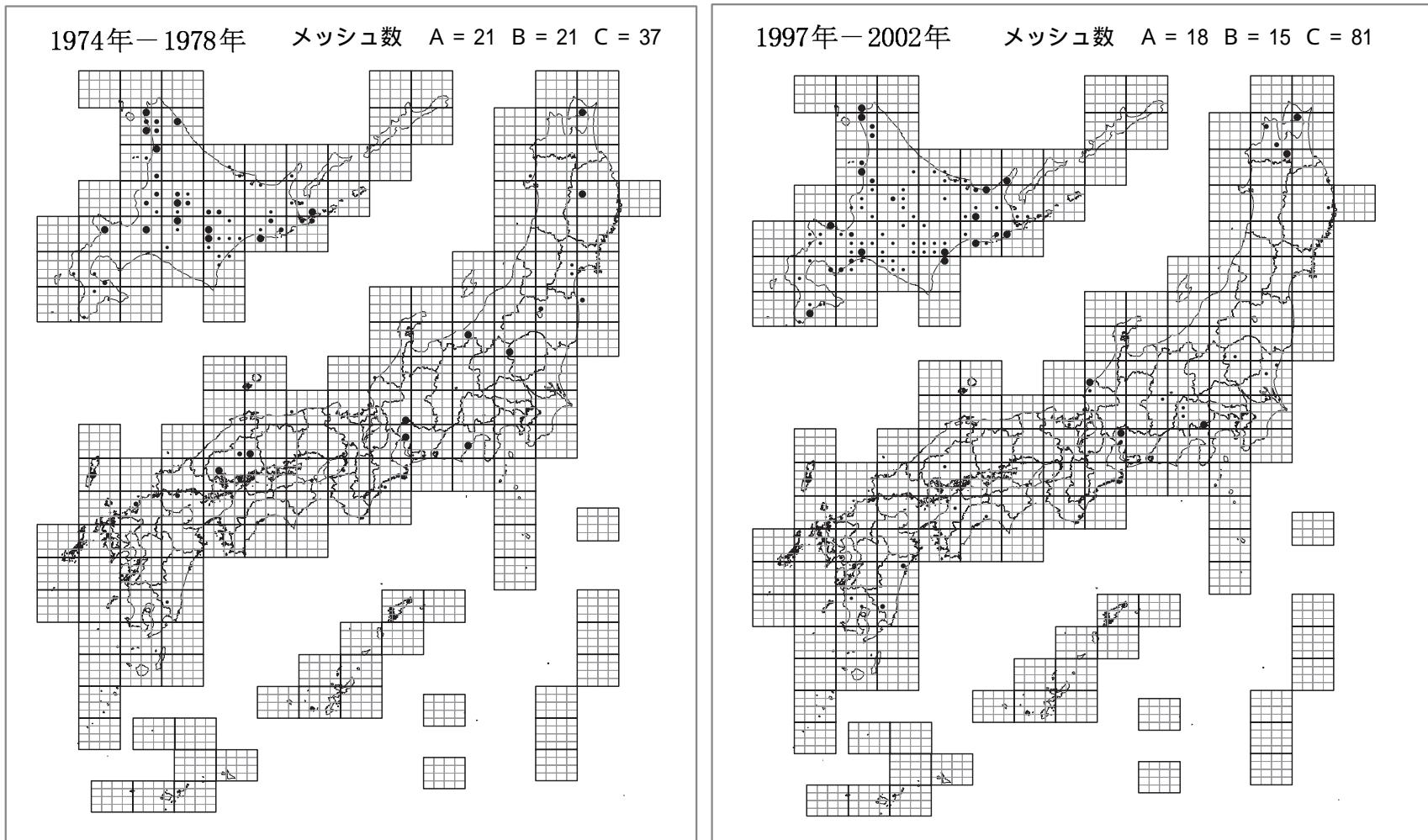
マガモ

(分類) カモ目カモ科 *Anas platyrhynchos*

(環境省RDB種) -

(分布) おもに冬鳥。北海道や本州の一部で繁殖。北半球の中緯度以北に広く分布。

(生態) 長野県の繁殖例では、4～6月から12～13卵を雌が28日前後抱卵し、孵化したヒナは3か月間雌親と行動を共にした。昼は水面で休憩し、夜間に水田や河川で草の種子や昆虫、小動物などを食べる。



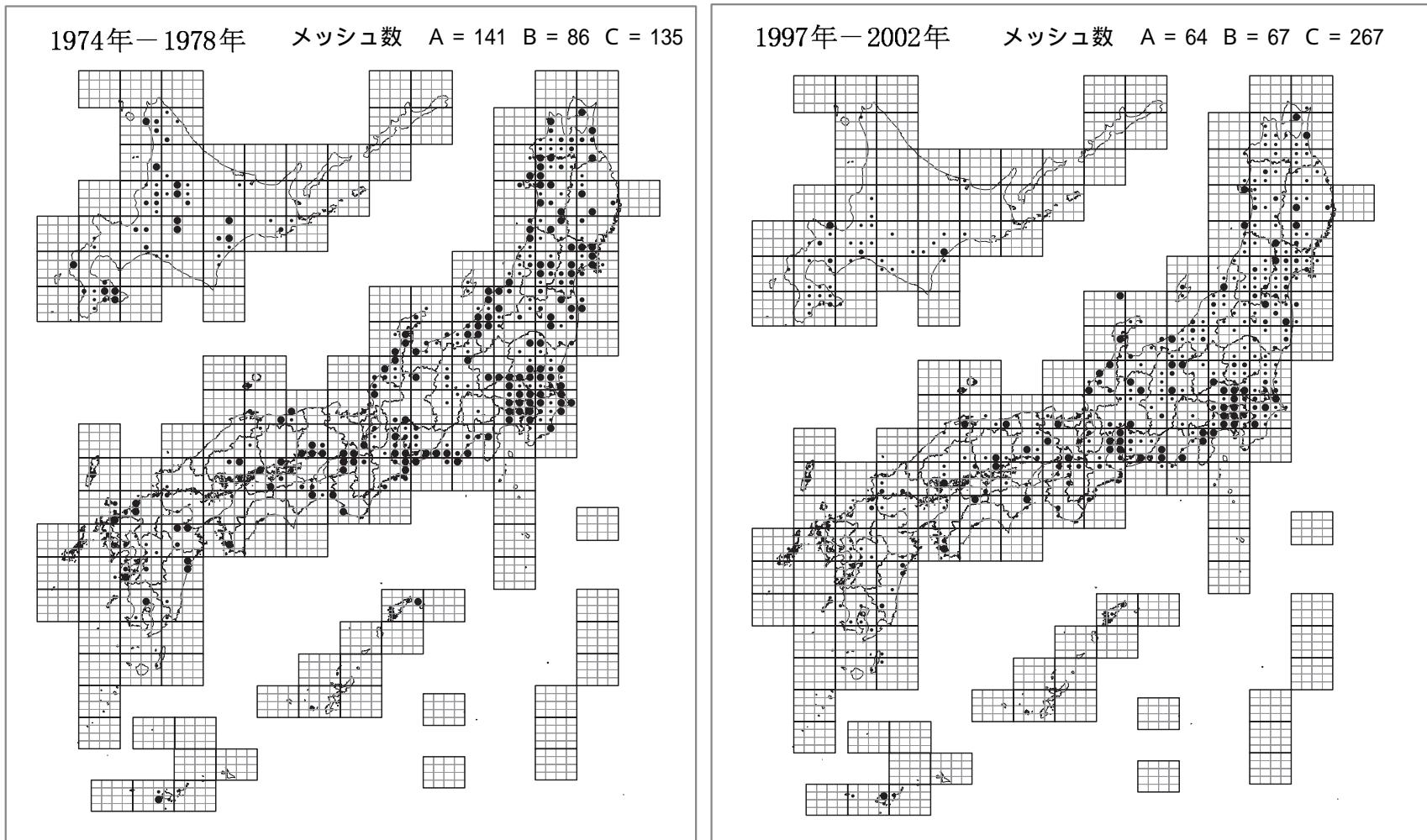
カルガモ

(分類) カモ目カモ科 *Anas poecilorhyncha*

(環境省RDB種) -

(分布) 本州以南で留鳥。北海道では夏鳥。ユーラシア東部に分布。

(生態) 湖沼、河川から海岸までの水辺の草むらの中などに営巣する。7~9卵を26日前後抱卵する。穀類、水生植物、さらに水生小動物も食べる。近年、都市部に生息域が広がっている。



コガモ

(分類) カモ目カモ科 *Anas crecca*

(環境省RDB種) -

(分布) おもに冬鳥。北海道や本州の一部で繁殖。北半球北部で繁殖し、同南部地域で越冬。

(生態) 森林に近い湖沼などの水辺の草むらの中に営巣する。6~10卵を22日前後抱卵する。穀類、水生植物、さらに水生無脊椎動物も食べる。餌付けにより大型のカモ類が増加すると、姿を消す場合が多いと言われる。

